令和6年 第1回 定例会

2月28日～3月15日	
47案件	
議案	34案件
報告	2案件
行政報告	1案件
教育行政報告	1案件
委員会提出議案	1案件
意見書案	7案件
決議案	1案件

●質疑とは……

議会に提出した議案に対してその内容や不明な点を聞くことです。

総務文教常任委員会

Pick up 1

伊達市事務分掌条例他6案件を改正する条例

付託された7案件について3月7日㈭に委員会を開催し、審査の結果全員一致で可決すべきものと決定した。

★令和6年3月7日㈭

◎議案第3号 伊達市事務分掌条例の一部を改正する条例

◎議案第4号 伊達市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◎議案第5号 伊達市行政財産使用料条例の一部を改正する条例

◎議案第7号 伊達市印鑑条例の一部を改正する条例

◎議案第8号 伊達紋別駅南集会所条例の一部を改正する条例

◎議案第10号 伊達市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例

◎議案第18号 消費税法等の改正に伴う関係条例の整理に関する条例

産業民生常任委員会

Pick up 2 伊達市国民健康保険税条例他9案件の一部を改正する条例

付託された10案件について3月8日㈮に委員会を開催し、審査の結果全員一致で可決すべきものと決定した。

★令和6年3月8日㈮

◎議案第6号 伊達市介護給付費準備基金条例

◎議案第9号 伊達市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

◎議案第11号 伊達市児童館・地域交流館条例

◎議案第12号 伊達市国民健康保険税条例

◎議案第13号 伊達市介護保険条例

◎議案第14号 伊達市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例及び伊達市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例

◎議案第15号 伊達市道路占用料徴収条例

◎議案第16号 伊達市準用河川流水占用料等徴収条例

◎議案第17号 伊達市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例

◎議案第34号 伊達市下水道条例

予算決算常任委員会（補正予算）

Pick up 3 集団検診室にエアコンが入ります

保健センター集団検診室に熱中症対策のため、エアコンを設置する。約750万円。

こんな質疑がありました。

質疑▼工事期間が6か月となっているが、今年の夏に間に合うのか。

また、検診実施に支障が及ばない工夫はあるのか。

答弁▼学校等他施設のエアコン設置工事と重なっているので、長めの工期を設定したが早期の完成を目指す。

また、検診実施に支障のないように土日や稼働率の低い時期を選定して工事を行う。

予算決算常任委員会（補正予算）

Pick up 4 伊達赤十字病院の機器更新

伊達赤十字病院に眼底血管造影検査機器の更新、緑内障レーザー治療装置の新規導入費用の一部を助成する。2,200万円の二分の一、1,100万円の補助。

導入することで治療が可能になり、市民の利便性、安全性が確保できると考える。

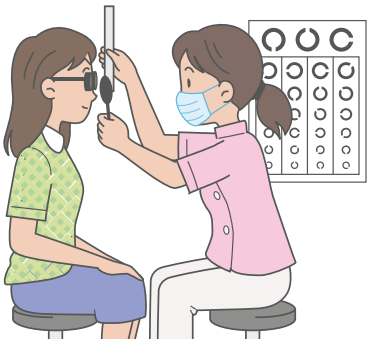
こんな質疑がありました。

質疑▼眼底血管造影検査機器を更新する理由はなにか。

答弁▼導入から8年が経過しており、一般的な耐用年数の7～8年を超過しており、光干渉断層血管撮影が困難であったり、画像の解像度が低いため、充分な検査結果が得られないために、機器の更新をするもの。

質疑▼緑内障レーザー治療装置を新規で導入する理由とその効果はなにか。

答弁▼今までは緑内障の治療は市内ではできなかったが、



予算決算常任委員会（補正予算）

Pick up 5 伊達中学校のトイレが洋式に

老朽化の著しい伊達中学校校舎及び体育館のトイレの洋式化と温水洗浄便座を設置する工事。洋式便器更新10基、和式便器の洋式化40基、小便器の更新34基他付帯工事。約7,660万円。

こんな質疑がありました。

質疑▼設計費と改修工事費が同一年度になった理由はなにか。

答弁▼国庫補助が見込まれる事になったので、令和6年度中に実施することにした。

質疑▼補正予算で組んだ理由はなにか。

答弁▼当初は令和6年度の予算に計上していたが、国の令和5年度の補正予算のメニューに乗ってきたので、早期の執行が見込める事から、補正予算に計上した。

予算決算常任委員会（予算）

Pick up 6

出産後の1か月健診が無料に

（乳幼児健康診査事業）

赤ちゃんを産んだ病院での1か月健診が全額自己負担であったが、出産から切れ目のない支援と保護者の経済的負担の軽減を図る。64万円。

こんな質疑がありました。

質疑▼以前までは約4千円の自己負担だったものが無料になるということか。

答弁▼保護者が病院に支払っていた金額が無料となる。

質疑▼補助の方法はどのような形をとるのか。

答弁▼妊娠届を提出した段階で、妊婦健診や産婦健診の受診券だけでなく、お子様の1か月健診についても受けられるものをお渡しする。このことで切れ目のない健診をしてもらう意図もある。

質疑▼1か月健診の受診率はどの程度か。

答弁▼ほぼ100%である。

予算決算常任委員会（予算）

Pick up 7

お母さんの緊急事態安心タクシー

（妊産婦タクシー利用支援事業）

体調不良、陣痛時など、急を要する予定外の通院時に妊産婦を支援する。出産予定医療機関まで、タクシー等の運賃を助成する。約73万円。

こんな質疑がありました。

質疑▼どのような支援の形になるのか。

答弁▼一部負担を設定し、利用者は料金の1／3をご負担頂く。

また、陣痛時のタクシー利用については、片道の全額が支給される。

質疑▼タクシードライバーの不足や深夜帯は営業をしていないなど、不安な部分はある。安心して利用できるのか。

答弁▼ほとんどの場合は自家用車を利用していると認識している。ただ、何らかの理由で運転が難しいといった場合に、移動の手段のひとつとして確保したい。

予算決算常任委員会（予算）

Pick up 8

文化遺産を守り、活かします

（指定文化財等保存管理・活用事業）

伊達市では文化遺産を次の世代に伝え新しい文化を育てるために欠かせないものとして、大切に保護している。約700万円。

こんな質疑がありました。

質疑▼迎賓館、蔵、旧三戸部家住宅の文化財が全く活用されていない。それ以上に傷んでおり朽ちてきているが、どのようにとらえているのか。

答弁▼市民の散歩、小学生の通学などとして使われている。

旧伊達家の案内板や、門柱、庭園内の銅像などの劣化も認識している。

今後は迎賓館などの一般開放も検討中である。補修などは対応していきたい。

質疑▼旧三戸部家住宅などは国指定の重要文化財であり、もう少しホームページなどの内容の充実を図るべきではないか。

答弁▼努めて参りたい。

改修が見込まれる迎賓館

予算決算常任委員会（予算）

Pick up 9

稀府地区畑地帯整備に向け調査進める

令和7年度から令和12年度までの6年間で実施予定の道営事業が計画されており、除れき※1、畑地かんがい施設※2等の整備を行う。令和6年度は事業採択に向け、土地改良法に基づく手続きを進めるための経費の一部、約54万円。

こんな質疑がありました。

質疑▼事業内容について伺う。

答弁▼農林水産大臣から登録を受けた専門家である、土地改良専門技術者が現地確認を行い、必要性や実現可能性等の調査を行う。

また、稀府地区の設計業務調査も行い、最終的に事業費がどの程度かかるのかも調査する。

質疑▼稀府地区で行う経緯について伺う。

答弁▼平成31年から要望調査を行い、かんがい施設の老朽化や畑の石に悩まされていることが調査結果でわかった。

令和3年9月に稀府地区の期成会が設立し、市に対して事業の要望書の提出があり、北海道、伊達市および農業者で調整を行った。

予算決算常任委員会（予算）

Pick up 10

奨学金の返還を支援します

若年層の定住と人材確保のため、市内の看護師や保健師、保育士等の国家資格を有し市内に居住する方に対しての奨学金の返還支援事業として「ふるさと応援基金」を活用。180万円。

こんな質疑がありました。

質疑▼様々な業種が人手不足であり、今回の支援は福祉分野に限っている。今後、他の業種でも支援を拡充する考えはないか。

答弁▼様々なニーズを検討しながら拡充していく。

質疑▼一人18万円×10名の人数の算定の具体は。

答弁▼例年、市内で採用され国家資格を有した方の人数が10名前後の実績である事から決めた。

質疑▼対象となる資格は。

答弁▼看護師、准看護師、保健師、助産師、栄養士、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、臨床工学技士、言語聴覚士、社会福祉士、介護福祉士、保育士など18資格を予定している。

予算決算常任委員会（予算）

Pick up 11

地域おこし協力隊を募集します

「地域おこし協力隊」の活動等における人材確保と活用後のミスマッチ防止等を目的に報酬額の引き上げや実際の活動体験をするインターン制度導入に係る経費。約600万円。

こんな質疑がありました。

質疑▼地域おこし協力隊の現況は。

答弁▼令和4年12月に大滝の協力隊の方が退任されてから採用はない。

質疑▼地域おこし協力隊は定住につながらないのが課題だが、本市としての考え方や支援は。

答弁▼就任中の3年間で、それら本人が考えるのが基本となっています。

質疑▼市の募集PRや方法など的を絞った形で、採用を検討したらどうか。

答弁▼地域資源や市の観光PRなど、本人の自由度を活かして活動してもらう。